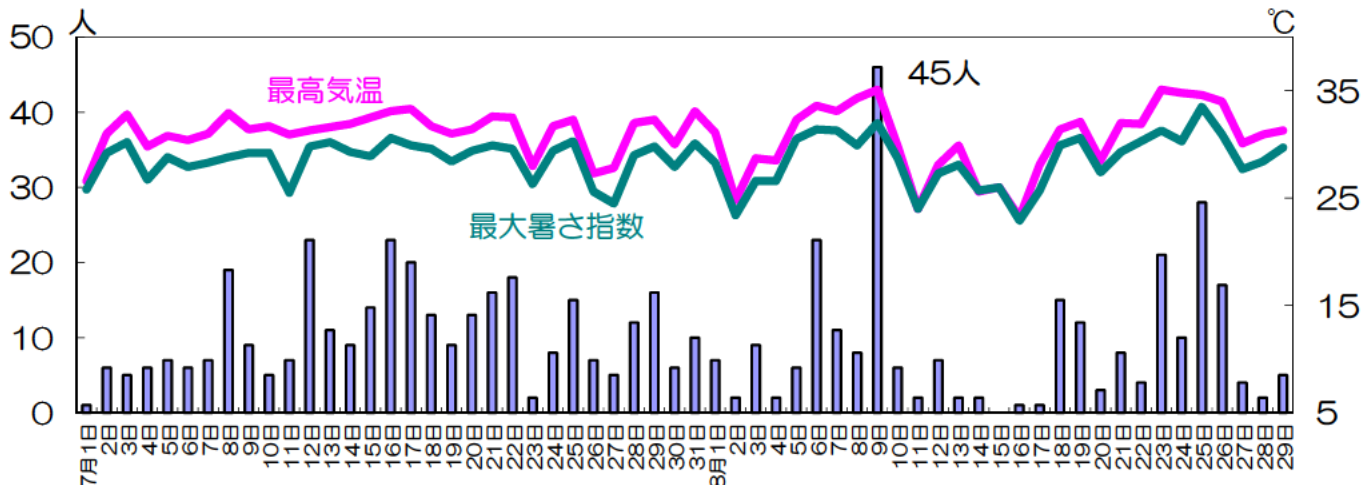


熱中症情報

<搬送数>

平成29年5月1日～8月29日までの搬送数（消防局データを使用）は、計682人（5月48人、6月42人、7月328人、8月264人）でした。8月10～17日は最高気温が30℃以下で搬送数は減少しましたが、8月23日からは残暑が厳しく、搬送数が増加しました。真夏日や猛暑日が予想される日には、ご注意ください。

こまめに水分を補給し、適度に塩分を取り、十分な睡眠とバランスの良い食事を心がける事が大切です。また、室温は28℃を超えないようにエアコンで調節して、暑さから身を守りましょう。



暑さ指数とは？人間の熱バランスに影響の大きい①気温 ②湿度 ③輻射(ふくしゃ)熱の3つを取り入れた温度の指標
詳細は「[環境省熱中症予防情報サイト（暑さ指数\(WBGT\)とは？](#)」をご覧ください。

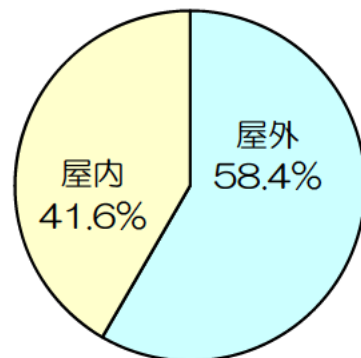
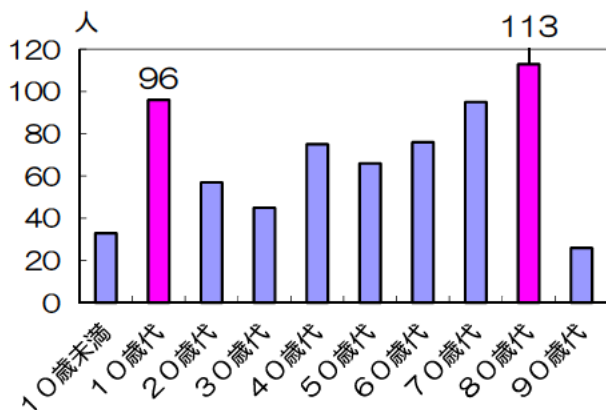
以下のグラフのデータは、5月1日からの累積搬送数です。

<年齢別>

年齢別では、80歳代が16.6%と、一番多く、次に10歳代が14.1%でした。

<発生場所>

屋外58.4%、屋内41.6%で、屋外での発生が多くなっています。



<重症度>

軽症59.8%、中等症35.2%、重症4.0%、重篤1.0%でした。

重症以上は、90歳代7人、80歳代9人、70歳代3人、60歳代4人、59歳以下11人でした。高齢者（65歳以上）になると、中等症以上の割合が増加し、重症化の傾向が伺えます。

